

平成26年度 事業報告

公益財団法人 佐倉国際交流基金

平成26年度 事業報告書

公益財団法人 佐倉国際交流基金

I. 事業の実施状況

1. 国際相互理解推進事業〔公益目的事業 1〕

1) 公開講演会（佐倉市と共催）

・テーマ：「EUの課題—ユーロ導入がもたらす政治的諸問題—」

講師：福田 耕治氏（早稲田大学・EU研究所 所長）

場所：佐倉市立中央公民館

開催日：平成26年6月28日（土）

来場者：190名

・テーマ：「日本の政党政治—これまでの10年とこれからの10年—」

講師：谷口 将紀氏（東京大学大学院法学政治系研究科 教授）

場所：志津コミュニティセンター

開催日：平成26年9月27日（土）

来場者：220名

2) 佐倉市国際文化大学

国際政治・経済・文化等をテーマに年間20回に亘る通常講座と2回の公開講座(上記を参照)を開催した。募集100名に対し、149名応募。公開抽選を行った。文大の運営体制・運営方法の素晴らしさが、講師のブログで絶賛された。

講師：大学教授等専門領域の有識者

場所：佐倉市中央公民館・志津コミュニティセンター等

開催日：5月～11月の土曜日

受講生：105名 修了者 95名、皆勤者 15名

延べ受講者数：1,913名(出席率 82.8%)

講座内容

5/10 開講式・韓国の政治と東アジアの安全保障（西野純也先生）

5/24 “市民が担う公共”への視点（田中弥生先生）

5/31 北斎と広重（大久保純一先生）

6/7 文化としてのスポーツ（玉木正之先生）

6/14 ベトナムのジャングルに学校を創る（松田喜好先生）

6/21 市民とマスメディア（土屋礼子先生）

6/28 公開講座・EUの課題（福田耕治先生）

- 7/5 海洋国家日本の国家戦略 (石津朋之先生)
- 7/12 高齢化社会を支えるロボット技術 (大武美保子先生)
- 7/19 華夷思想と中国の政治 (家近亮子先生)
- 7/26 イスラムと民主主義 (水口章先生)
- 8/2 TPPの成立と今後の農業政策 (山下一仁先生)
- 9/6 後朝(きぬぎぬ)の歌 (渡部泰明先生)
- 9/13 水素利用の可能性 (大和田野芳郎先生)
- 9/20 財政再建と社会保障制度の課題 (田中秀明先生)
- 9/27 公開講座・日本の政党政治 (谷口将紀先生)
- 10/4 オペラを楽しむ (米谷毅彦先生)
- 10/11 紛争処理の現場から (伊勢崎賢治先生)
- 10/25 成長産業が抱える課題 (川淵孝一先生)
- 11/1 これからの地域福祉 (松山毅先生)
- 11/22 ゼミ自由研究発表会 (自主ゼミグループ(聴講全員))
- 11/29 修了式・エコイノベーションに求められるもの (山本良一先生)

- 3) 佐倉国際スピーチコンテスト (佐倉市と共催・佐倉市教育委員会後援)
国際交流意識の啓発を目的に小、中学生の英語スピーチコンテスト並びに
外国人の日本語スピーチを実施した。

テーマ：自由

審査委員：ネイティブの大学英語講師・A.L.T・高校英語教師による
(審査結果公表)外国人の日本語スピーチは審査せず。

場 所：ミレニアムセンター佐倉

開催日：平成26年9月28日(日)

出場者：中学生 レシテーション 16組(17名)

中学生 スピーチ 13名

小学生 72組(73名)

外国人 5名

来賓 3名、審査員3名

スタッフ 運営委員 3名、当日ボランティア 5名、
佐倉市役所 3名、事務局3名

- 4) イングリッシュサロン

平成22年度までの「みんなの楽しい英語」の趣旨に沿った事業として、
平成24年度に開始した。ネイティブの外国人と英語によるコミュニケーション
を体験することにより、英語力向上のきっかけを得るとともに、体験活動
を通じて、多文化共生と国際交流感覚を醸成することを目的として
開催した。

2人の外国人が進行役として、それぞれ年間10回担当し、年間20クラス開催した。最初は、固かったものの、徐々に雰囲気も打ち解け、英語でのコミュニケーションを楽しめたと好評であった。

開催日数 10回(20クラス)

参加者 延べ196名(昨年度は、12クラス 119名)

出席率 82%

ファシリテーター(進行役) 2名

運営委員 4名

*年度半ばで、運営委員会が一新された結果、後半の事業運営および平成27年度事業計画立案がスムーズにすすんだ。

5) 佐倉国際交流のつどい

外国人と日本人が同じ地域の仲間として交流する場を提供し、多文化共生社会への一助になることを目指した事業である。インド・ネパール料理シリザナ様、岩淵薬品(株)様から、協賛をいただいて10月18日志津コミュニティセンターで開催された。今年もキャッチ・コピーは「手をつなぐ、心をつなぐ、世界の輪」とし、280人余りの市民(うち外国人32人)が、参加し、イベントを楽しんでいた。特に今年度は、日本語講座の受講生が10名以上参加し、フィリピン民族衣装の紹介、中国語での歌の披露、ペルー民族舞踊の披露、そしてタイと台湾の民族料理を紹介し、フィンランドのフォークダンスを披露した。事業間の交流という長年の課題も克服した意義深いイベントとなった。

・開催イベント/ブース

フラダンス、日本語講座コーナー、紙飛行機、けん玉、ハロウィーン、盆踊り、福引、外国料理、書道、お茶、コーヒーコーナー、フリーマーケット(フェアトレード)

・参加者：285名 うち外国人：約32名

・スタッフ：運営委員 6名、ボランティア 30名、

佐倉市 3名、パフォーマンス参加 15名

事務局3名、協力団体関係者 21名

*スタッフのうち外国人ボランティア：23名

2. 国際交流活動支援事業[応募申請型] [公益目的事業 2]

国際交流親善・多文化共生の啓発に寄与すると判断される団体・グループ等の活動支援[当基金の助成金交付内規による助成金支援]である。平成26年度に助成金を交付した団体と事業は下記のとおりである。

団体名	事業名	助成金
佐倉ポルトガル語同好会	佐倉ポルトガル語同好会	20,000
中国語中級会話同好会	中国語中級会話学習	12,000
OK さくら	垣見一雅さん帰国講演会	20,000
佐倉中文会	中国語の学習及び中国との交流活動	20,000
佐倉日蘭協会	佐倉オランダ児童交流	50,000
佐倉日蘭協会	オランダ関連講演会	17,500
日中友好協会	中国語教室	20,000
日中友好協会	親善訪問（香港ほか）	50,000

(助成金合計 209,500 円)

3. 外国人支援事業（佐倉市国際化推進事業受託）〔公益目的事業 3〕

1) 外国人のための日本語講座

市内在住の外国人を対象に日本語で意思疎通が可能となるよう
日常会話を中心とした講座を開催した。

(1) 開講クラス

- ・毎週木曜日（午前・午後 合計3クラス）
* 午後はベビーシッター制度あり
会場：志津コミュニティセンター
- ・毎週金曜日（夜間 1クラス）
会場：ミレニアムセンター佐倉
- ・隔週土曜日(1クラス)
会場：レインボープラザ佐倉
- ・毎週日曜日(午前 合計4クラス)
会場：中央公民館、レインボープラザ佐倉

(2) 事業状況

受講者 年間合計 2,125 名（平均 43 名が受講）

年間クラス 年間合計 470 クラス

日本語ボランティア 年間合計 719 名

（ボランティア数 平均 16 名、コーディネーター 5 名）

ベビーシッター 年間合計 315 名(平均 3.8 名)

教室での学習だけでなく、外に出て、日本人とのコミュニケーションを体験するイベントを実施した

- ・DIC 川村記念美術館訪問(5月24日)
- ・国立歴史民俗博物館訪問(7月26日)
- ・佐倉高校生との交流会(11月1日)

- ・佐倉市内見学(11月22日)
- ・佐倉消防署見学(2月28日)

* 11月4日に第1回運営委員会が開催され、長年の懸案であった運営体制がようやく確立されることとなった。

2) 外国人のための生活相談

佐倉国際交流基金の事務局内に、外国人を対象とした生活全般に係る相談窓口を置き、相談員3名を配置し、電話及び面接による相談を実施した。また、相談員が不在の場合、必要に応じて交流基金事務局長、あるいは事務局員が生活相談を実施した。

1. 英語による相談受付	毎週木曜日	44回
2. 中国語による相談受付	毎週金曜日	45回
3. スペイン語による相談受付	毎週火曜日	38回
○相談件数	91件	127回

* 生活相談員の作業効率が悪い状態が続いており、平成27年度に生活相談事業全体の体制、作業内容を改革し、外国人に対する支援を拡大していく予定である。

4. その他 附帯事業

1) 国際交流ボランティア活動

下記のボランティア支援の依頼を受け、対応した。

- 4月 教育委員会から日本語適応支援事業(タイ語、4月から実施)
- * 5月 社会福祉課から翻訳依頼(英語・中国語、スペイン語)
- * 6月 子育て支援課から翻訳依頼(英語・中国語、スペイン語)(A4 4枚)
- * 7月 児童青少年課から翻訳依頼(スペイン語)
- * 7月 社会福祉課から通訳依頼(英語)
- 6月 アフガニスタン人(女性)に対する日本語個別指導(6月から)
- 2月 ペルー人児童(小3)の生活指導を兼ねた家庭教師(7月に交代)
- 5月 ウガンダ人、タイ人の少年(15歳、16歳)への日本語集中指導(5月から)
⇒日本語講座の特別クラスとして扱った
- 7月 7/7 南部児童センターでポルトガル語通訳
- * 7月 7/17, 7/22 保育園でスペイン語通訳(子育て支援課)
- * 7月 7/25 生活保護に関する通訳(社会福祉課)
- 7月 7/26 歴博訪問を支援
- * 8月 市長挨拶(花火大会)の翻訳(英語)
- 8月 8/18-22「たのしい日本語教室」(教育委員会)(延べ14名参加)
- * 9月 市長挨拶の翻訳(英語)
- * 9月 健康増進課から通訳依頼(スペイン語)

- * 9月 健康こども部から翻訳依頼（スペイン語）
 - 9月 南志津小学校から日本語適応指導事業（スペイン語）
 - 9月 志津中学校から日本語適応指導事業（中国語）
 - * 9月 9/4 健康増進課からすくすく発達相談通訳依頼（英語）
 - * 9月 東邦大医療通訳依頼（英語）
 - 9月 アフガニスタン人（女性）に対する日本語個別指導（6月から）
 - 10月 健康管理センター 言葉と発達の相談室通訳依頼（英語）
 - 11月 西志津中学校から日本語適応指導事業（英語・フィリピン人）
 - * 12月 12/4 健康増進課からすくすく発達相談通訳依頼（英語）
 - 3月 保育園入園の説明
 - * 3月 自動車免許取得のための準備について教習所訪問（ネパール）
 - * 3月 古物商申請のための手続きに関し警察署同行（ウガンダ）
 - * 3月 難民申請中の国民健康保険の取り扱いについて市役所と調整
 - * 3月 ペルー人中学生の中学校入学支援話し合い
- *は、生活相談員としての活動

2) 後援事業

下記事業を後援した。

- ・房総日本語ボランティアネットワーク主催
「日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス」
- ・佐倉日蘭協会主催
オランダ事情講演会「知られざる戦後の日蘭交流史」

3) 機関誌の発行

基金 **LETTERS** を発行（7月・11月）し事業の実施状況やボランティアの活動などについて情報を提供した。

7月発行

記事内容	執筆者
佐原・香取神宮めぐり（バス見学）	日本語ボランティア 今村さん
文大創立25周年を迎えて	文大事務局長 山田さん
助成金の案内	SIEF 事務局
賛助会員紹介	佐倉市体育協会
歴博・DIC 川村記念美術館の案内	SIEF 事務局
世界料理（スペイン料理）	生活相談員 兼坂マリアさん
事業報告・収支報告	SIEF 事務局
SIEF 今後の予定	SIEF 事務局

11月発行

記事内容	執筆者
佐倉国際交流のつどい	運営委員長 笹沼さん

佐倉国際スピーチコンテスト	SIEF 事務局
歴博・DIC 川村記念美術館の案内	SIEF 事務局
日本語講座学習者のご紹介	知念はるみさん
佐倉高校との国際理解交流会	佐倉高校生、 日本語ボランティア寺嶋さん、松永さん
賛助会員紹介	日産厚生会 佐倉厚生園病院
SIEF 外国人支援事業紹介	SIEF 事務局

4) ホームページの活用

分かりやすく覚えやすいURLを取得し、基金ホームページを使って当基金の事業概要・行事・その他財務状況などを掲載し公告の一助とした。

ホームページアドレス：<http://www.sief.jp>

5) 賛助会員

昨年同様、佐倉市国際文化大学やイングリッシュサロンの参加申し込み時にプロモーション活動を実施した結果、会員数は30名増加し、賛助会費収入は、予算を上回った。引き続き、会員数の増加を目指していく。

以上

<参考資料>

1. 賛助会員数 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

個人会員 233 人 (217)
 内、市外の会員 8 人 (8)
 外国人 3 人 (0)
 団体会員 9 団体 (9)
 法人会員 13 法人 (12)

()は昨年度の実績

2. ボランティアバンク登録者数

2015 年 (平成 27 年) 3 月 31 日現在
 291 (279) 名 (重複登録有り)

日本語講師		118 (105)
通訳・翻訳		245 (245)
内 訳	英 語	143 (128)
	スペイン語	25 (25)
	ポルトガル語	14 (10)
	中国語	36 (35)
	フランス語	13 (12)
	インドネシア語	5 (3)
	ロシア語	4 (4)
	タイ語	6 (5)
	スウェーデン語	1 (1)
	ドイツ語	5 (5)
	韓国語	15 (12)
	タガログ語 (リサヤ語)	2 (2)
	イタリア語	2 (1)
スリランカ語	2 (2)	
ホームステイ・ビジット		50 (46)
イベント手伝い		179 (164)
ベビーシッター		30 (30)
車の運転		30 (26)
その他		87 (86)

() は昨年度数

3. 役員、評議員に関する事項

(1) 役員・評議員名簿

役員（理事・監事）（平成 27 年 3 月 31 日現在・敬称略）

役員名	氏名
理事長	宍倉 昌男
副理事長	熊谷 隆夫
常務理事	石塚 孝男
理事	伊藤 三郎
理事	岩城 正明
理事	大久保 純一
理事	岡村 美智子
理事	笹沼 和男
理事	鈴木 博
理事	山田 滋
監事	石渡 孝
監事	熊崎 久雄

任期 平成 25 年 5 月 29 日から平成 27 年評議員会まで

評議員（平成 27 年 3 月 31 日現在・敬称略）

	氏名
評議員	安達 文夫
評議員	岩崎 肇
評議員	大川 靖男
評議員	小柳 啓一
評議員	佐久間 文麗
評議員	角田 和弘
評議員	長谷川 稔
評議員	堀川 義勝
評議員	山田 朝子

任期 平成 23 年 4 月 1 日から平成 27 年評議員会まで

(2) 役員会等

☆定例理事会（役員会） 平成 26 年 5 月 15 日（木）

議 題

- ・第 1 号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成 25 年度事業実績報告について
- ・第 2 号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成 25 年度決算報告について

監事より監査結果の報告

- ・第3号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成26年度助成金交付について
 - ・第4号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成26年度評議員会開催について
- 理事数 10人
役員数 12人（理事10人 監事2人）
理事出席数 10人 監事出席数 2人
議決結果 原案どおり可決

☆定例理事会（役員会） 平成27年3月12日（木）

議 題

- ・第1号議案 平成27年度事業計画（案）について
 - ・第2号議案 平成27年度事業予算（案）について
 - ・第3号議案 運営委員会規程の改訂について
 - ・第4号議案 ボランティア弁償費および謝礼支給規定の改訂について
 - ・第5号議案 事務員の雇用に関する要綱の改訂について
- 理事数 10人
役員数 12人（理事10人 監事2人）
理事出席数 6人 監事出席数 2人
議決結果 原案どおり可決

報告事項

- （1）事務局員・生活相談員の交代について
- （2）佐倉市国際文化大学 平成27年度カリキュラムについて

★評議員会 平成26年5月26日（月）

議 題

- ・第1号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成25年度事業実績報告について
 - ・第2号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成25年度決算報告について
- 監事より監査結果の報告
- ・第3号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 定款の変更について
- 評議員数 9人
評議員出席数 6人
議決結果 原案どおり承認

報告事項

- （1）平成26年度事業計画・予算書
- （2）平成26年度助成金交付について

◇三役会

平成26年4月15日（火）

- ・平成25年度事業報告・決算案の検討
- ・平成26年度第1回定例理事会議案および平成26年度評議員会議案

・平成26年度第1回助成金審査

平成26年6月11日（水）

- ・全体スケジュールの確認
- ・事業・予算執行状況
- ・懸案事項の検討
- ・助成金申請状況

平成26年9月3日（水）

- ・全体スケジュールの確認
- ・事業・予算執行状況
- ・懸案事項の検討

平成26年12月9日（火）

- ・全体スケジュールの確認
- ・事業・予算執行状況
- ・懸案事項の検討
- ・事務員・生活相談員採用状況
- ・平成27年度事業計画策定スケジュール

平成27年2月18日（水）

- ・全体スケジュールの確認
- ・事業・予算執行状況
- ・懸案事項の検討
- ・平成27年度事業計画・予算案
- ・3月理事会議案

○その他会議

運営委員長交流会 平成26年12月11日（木）

事業間の交流推進のために、運営委員長に集まっていただき、運営方法などについて意見交換をした。（文大、スピコン、つどい、日本語講座の運営委員長が参加した）

岐阜市国際交流協会との打ち合わせ 平成26年6月2日（月）

岐阜市側からの要望で開催した。行政から自立して運営を行っている SIEF の活動状況、行政から独立したときの経緯、行政から独立するメリット・デメリットなどを話しあった。佐倉国際交流基金が自立運営されていると判断された一つの理由が、SIEF ホームページであったとのことである。

4. 契約に関する事項

契約締結年月日	相手方	締結の内容	契約金額
平成26年4月1日	佐倉市	佐倉市国際化推進事業	1,500,000円

5. 寄附金、協賛金等

(1) 寄附金ご協力者 (敬称略)

氏 名	寄 附 金 額	受 取 日
岡部 グニラ	10,000 円	平成 26 年 9 月 28 日

寄附金は、一般正味財産として「佐倉国際スピーチコンテスト」の収益とした。

(2) 協賛金ご協力者 (敬称略)

氏 名	金 額	協賛いただいた事業
佐倉ライオンズクラブ	20,000 円	佐倉国際スピーチコンテスト
佐倉ロータリークラブ	10,000 円	佐倉国際スピーチコンテスト
DIC 川村記念美術館	10,000 円	佐倉国際スピーチコンテスト

協賛金は「佐倉国際スピーチコンテスト」の収益とした。

(3) その他協賛としてのご協力者 (敬称略)

氏 名	内 容	協賛いただいた事業
岩淵薬品 (株)	健康食品の提供 (福引景品) 10,000 円	佐倉国際交流のつどい
インド・ネパール料理 シリザナ	食事券の提供 (福引景品) 5,000 円	佐倉国際交流のつどい